

Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行 (No.226)

三河港湾事務所だより

2026年7月号

世界が注目！ JICA研修員が見た三河港のチカラ



6月19日（金）、JICA（国際協力機構）が実施する「港湾戦略運営」研修の一環として、15カ国（アンゴラ、バングラデシュ、ブルンジ、カンボジア、コロンビア、エジプト、フィジー、マレーシア、モルディブ、モンテネグロ、パプアニューギニア、セネガル、南スーダン、東ティモール、ベトナム）19名の研修員が三河港を視察しました。

この研修は、経済発展に欠かせない港湾の整備や運営管理について、講義や視察を通じて理解を深めると共に、研修員が自国に戻ってから各国の港湾の発展に寄与することを目的としています。



当日は、三河港湾事務所による三河港の概要や港湾施設の説明を受けた後、ポートインフォメーションセンター「カモメリア」の展望台から港内の様子を見学しました。さらに、三河港を拠点に全国へ配送されるフォルクスワーゲングループジャパンの新車整備工場なども視察しました。研修員は、普段目にするることのない港湾施設や新車整備工場に強い関心を示し、学んだ内容を自国の発展に生かそうとする意欲が感じられました。



※JICA（ジャイカ）とは
独立行政法人国際協力機構（Japan International Cooperation Agency）の略称で、日本の政府開発援助（ODA）を担い、開発途上国への国際協力を行う機関です。

「ビジネスパーク」に講師として参加しました

6月10日（水）、12日（金）に、豊橋商工会議所主催の「春のビジネスパーク2026」に講師として参加し、豊橋市立南陽中学校と豊橋市立東部中学校で授業を実施しました。

ビジネスパークとは、豊橋市のキャリア教育の一環として、豊橋商工会議所が立ち上げた事業です。民間企業や行政などで働く社会人が、中学校や高校、専門学校などに出向き、働くことの意義や職業選択などを子どもたちに伝えることで、『具体的な職業観を養ってもらうこと』や『将来の職業を考える機会を与えること』により地域への愛着や地元就職への意識の形成を目指しています。

授業では、「バズる港はどう作る？～人・モノ・仕事が集まる港のヒミツ～」という題目で、人々の暮らしを支える港の役割や三河港の特色、そこで働く私たち三河港湾事務所職員の仕事内容について、間違い探しやクイズを用いて説明しました。グループ毎で協力しながら、クイズに挑戦したり解説を聞いたりして、楽しみながら理解を深めていました。

今回、授業を受けたことで、少しでも港に関心を持ってもらうとともに、公務員の仕事について知ってもらい、自分の将来を考える際の参考になれば幸いです。



みかわこうわん

三河港湾

検索

三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>

三河港湾事務所公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>



国土交通省 中部地方整備局
三河港湾事務所
公式Facebookページ





～ 初夏の週末を彩る 豪華客船「飛鳥Ⅲ」蒲郡に寄港 ～

6月13日（土）、蒲郡11号岸壁に「初夏の週末 蒲郡クルーズ」としてクルーズ船「飛鳥Ⅲ」が寄港し、三河地域は多くの来訪者でにぎわいました。乗船客は、色とりどりの花が美しい「あじさい祭り」をはじめ、竹島やラグーナ蒲郡フェスティバルマーケットなど、蒲郡ならではの観光地を満喫。さらに足を延ばして、豊川稲荷や岡崎城を巡るなど、歴史と自然が調和した三河の魅力を存分に楽しめました。

日中とは異なる表情を見せる夜のクルーズ船も印象的で、ライトに照らされたその姿は夜景のように幻想的。訪れた人々に新たな感動を与えていました。初夏のさわやかな風の中、蒲郡の魅力あふれるひとときが広がった一日となりました。

☆☆☆☆ 駒ヶ根市立中沢小学校における「港の大研究」出前授業の実施 ☆☆☆☆

長野県駒ヶ根市立中沢小学校より、日常生活を支える港の役割を理解してもらう取り組み「港の大研究・出前授業」の依頼を受け、6月8日（月）に5年生11名を対象に授業を行いました。

当日は「“みなと”と“船”の役割」と「“みなと”で働く人たち」をテーマに、日本のエネルギー自給率や食料自給率について紹介した後、食卓を例に“みなと”がないとどうなるかを考えてもらいました。生徒からは「電気がつかなくなる」「お腹いっぱい食べられなくなる」など、元気な声でさまざまな意見が挙がりました。

中沢小学校では、三河港に立地する「株式会社新来島豊橋造船」の工場見学を含む臨海学習も実施され、6月18日には造船工場の見学や、岸壁に係留された自動車運搬船の前で記念撮影が行われました。児童たちは船の大きさや、製造の様子に驚いた様子でした。また、出前授業に派遣した三河港湾事務所の職員も見学に参加し、児童とともに学ぶ機会をいただきました。貴重な機会をご提供いただき、ありがとうございました。

株式会社新来島豊橋造船HP：[\(https://www.toyozo.jp/\)](https://www.toyozo.jp/)



海の日 港へ行こう！豊橋みなとフェスティバル開催



今年も「豊橋みなとフェスティバル」が開催されます！

港のにぎわいと魅力を体感できるイベントとして、毎年多くの来場者で賑わう人気の催しです。

会場では、ステージイベントやグルメ、港ならではの乗船体験コーナーなど、家族みんなで楽しめる企画が多数予定されています。

三河港湾事務所もブース出展し、みなとの役割や取り組みをわかりやすく紹介します。

夏の思い出づくりに、ぜひカモメリアへ足をお運びください！

開催日：令和8年7月20日（月・祝）＜海の日＞16:00～21:00

会場：ポートインフォメーションセンター カモメリア一帯
（豊橋市神野ふ頭町）

詳細はこちら：豊橋みなとフェスティバル公式HP
[\(https://www.toyohashi-cci.or.jp/event/\)](https://www.toyohashi-cci.or.jp/event/)



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
おおいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※ 9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所
〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251

衣浦港事務所
〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>